
常識があるがために苦悩した少年のその後

波摩璽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

常識があるがために苦悩した少年のその後

【Nコード】

N6692L

【作者名】

波摩璽

【あらすじ】

『常識があるがための苦悩』の続編……かな？
今の想いを書きました

(前書き)

初投稿から数年たってます……。
読みにくかったらすいません。

下を見下ろすと地面が見える。

二階から見ても、三階から見ても地面がある。

階段を上るたびに地面は遠くなる。

それとともに位置エネルギーが増加する。

（落ちたら死ぬかな？）

彼は死にたがっていた。

（どうやったら死ぬるかな。どうやったら背骨が折れるかな。どうやったら首の骨が折れるかな。）

何度も何度も落ちるシュミレーションをする。

そう

シュミレーションするだけ。実行する事はない。

なぜなら死んではならないからだ。

親が悲しむ。

自分にかけてくれた金が無駄になる。自分に接してくれた人の優しさが無駄になる。

無駄は嫌いだ。

でも死にたかった。

気にしている癖を見てからかわれる。

気にしている顔のことを言われる。

悪口がうるさい。

物が無くなる。

自分の声が気持ち悪い。

物忘れがひどい。

要約すると自分が嫌いだ。

この体

この頭

この脳

この感情

この性格

全てが嫌いだ。

生きていても仕方ない。周りは僕を必要としない。性格のせいで他の人にも話せない。

自分は作り替えることはできない。なら、初めからやり直したい。そう考えていた。

~~~~~

そう考えてから、早くも七年の月日が流れた。中学生だった彼は今、専門学校へ通っている。そんな自分が書いた、薄汚れたメモを見て  
(俺って、さみしがってたんだな……)  
そう言い切る。

あれから、おそらく自分は変わったと俺は思う。

毎日続いていた苦痛だけの中学生生活は、部活に入ってから楽しかった。

高校生活も友達が出来てから楽しくなった。

内容なんて無い、ただ一方的にしゃべるだけの会話。それに頷いたり、冗談を言い合ったりするだけ。

それだけなのに  
とても楽しかった。

そして

とても嬉しかった。

今の俺からみると、当時の自分はネガティブに考えすぎている。  
周りに『常識』を武器にして攻撃する人がいた。その原因は、常識  
の欠如を題材にしてバカにする番組やニュースが多く報じられてい  
たから……だと思う。

学校でのいじめと

社会から喚かれる自己の否定

これらが合わさった結果がこのメモになったのだろうな、と思う。

だから

今一度叫ぶ

「それがどうした！」

一部しか受け付けない様な意味ではなく  
すべてを許容する意味で

**(後書き)**

質問、アドバイスなどはぜひしてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6692/>

---

常識があるがために苦悩した少年のその後

2011年10月4日01時25分発行